

しゃべり倒す！ 桜馬舎鈴々



1～6日 ネタ変え連続公演

ベテランの鈴々舎馬桜＝写真＝が来月1～6日、東京・お江戸日本橋亭を借り切ってプロデュース公演を行う。「二回二時間ぐらいが観客も疲れない」と三部構成(五日は除く)で、一、二部は基本的に自分の独演会。毎日毎回ネタを変え、二十余演目をしゃべり倒す。(田中冴子)

初日は落語講座。一部「文七元結」、二部「中村仲蔵」で物語の舞台や歌舞伎役者の裏話を取り上げてから一席口演する。

二日は三味線など鳴り物入りの「疝気の虫」「七段目」ほか。

三、四、六日は名人に挑むシリーズで、黒門町(文楽)、家元(談志)、円生、三木助の十八番ネタ「倍氣の火の玉」「ねずみ穴」「死神」「芝浜の革財布」などが続く。

五日は三部のみで

「円朝座」。「怪談牡丹燈籠・孝助伝」で、ゲストの隅田川馬石が「名人長二・仏壇叩き」。

六日二部は馬桜が落語指導をした映画「月光ノ仮面」(板尾創路監督)のDVD発売記念落語会。映画に登場する「野晒し」「粗忽長屋」など五演目。

一部正午、二部午後三時、三部六時(初日六時半)開演。一、二部と五日は各二千五百円、三部二千五百～千五百円。☎03・38801・

6799。